

誰もが「避難できる」まちを考える

インクルーシブ 防災ウォーク

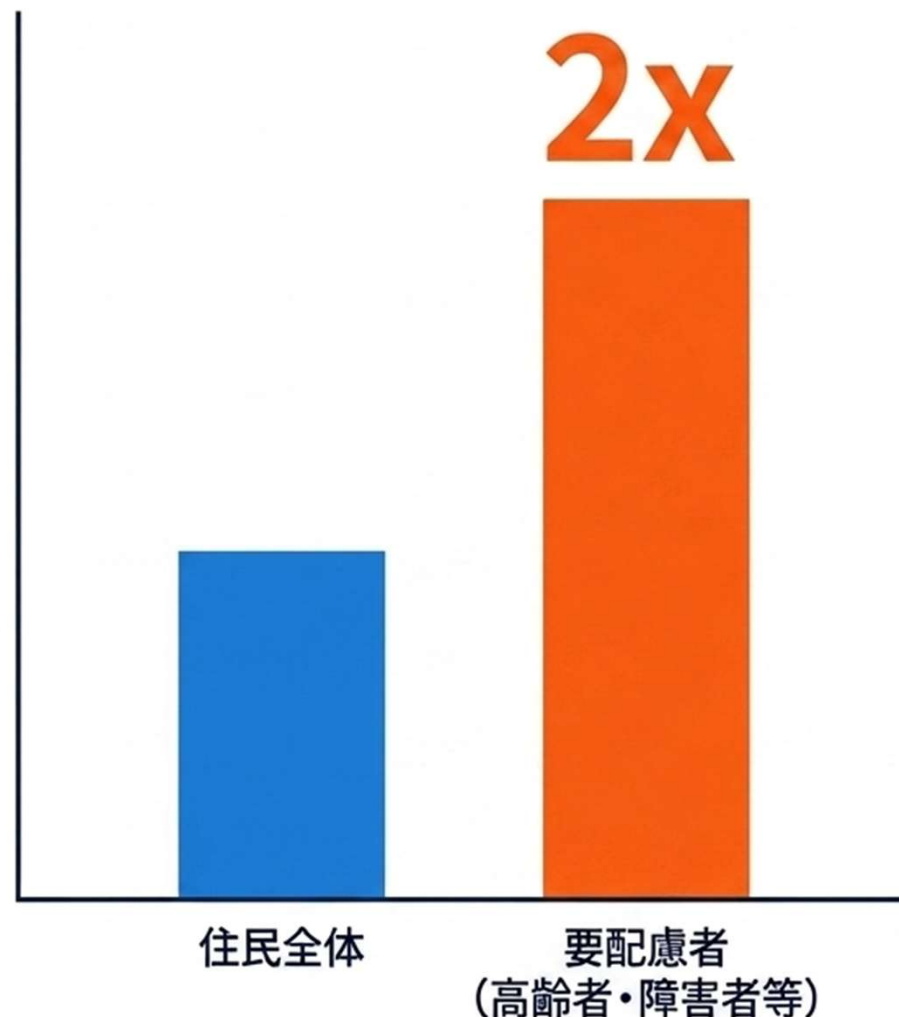
車いす等を使ってまちを歩き、
避難を妨げる「モノ・コト」を見つけよう。



災害から 逃げられない 人がある。

「逃げなかった」のではなく、
「逃げられなかった」。

東日本大震災における、障害者や高齢者など
避難に支援を必要とする人々の死亡率は、
住民全体と比較して約2倍。



※公的統計に基づく（実際の作成時に公的資料の出典・数値を記載）

避難をあきらめる「3つの困難」

①移動の困難

(段差、坂道、狭い道路、冠水、
車いすで通れない経路)

②情報利用の困難

(避難情報が聞こえない、
見えない、理解できない)

③周囲の無理解 による困難

(必要な支援が理解されない、
助けを求めにくい)

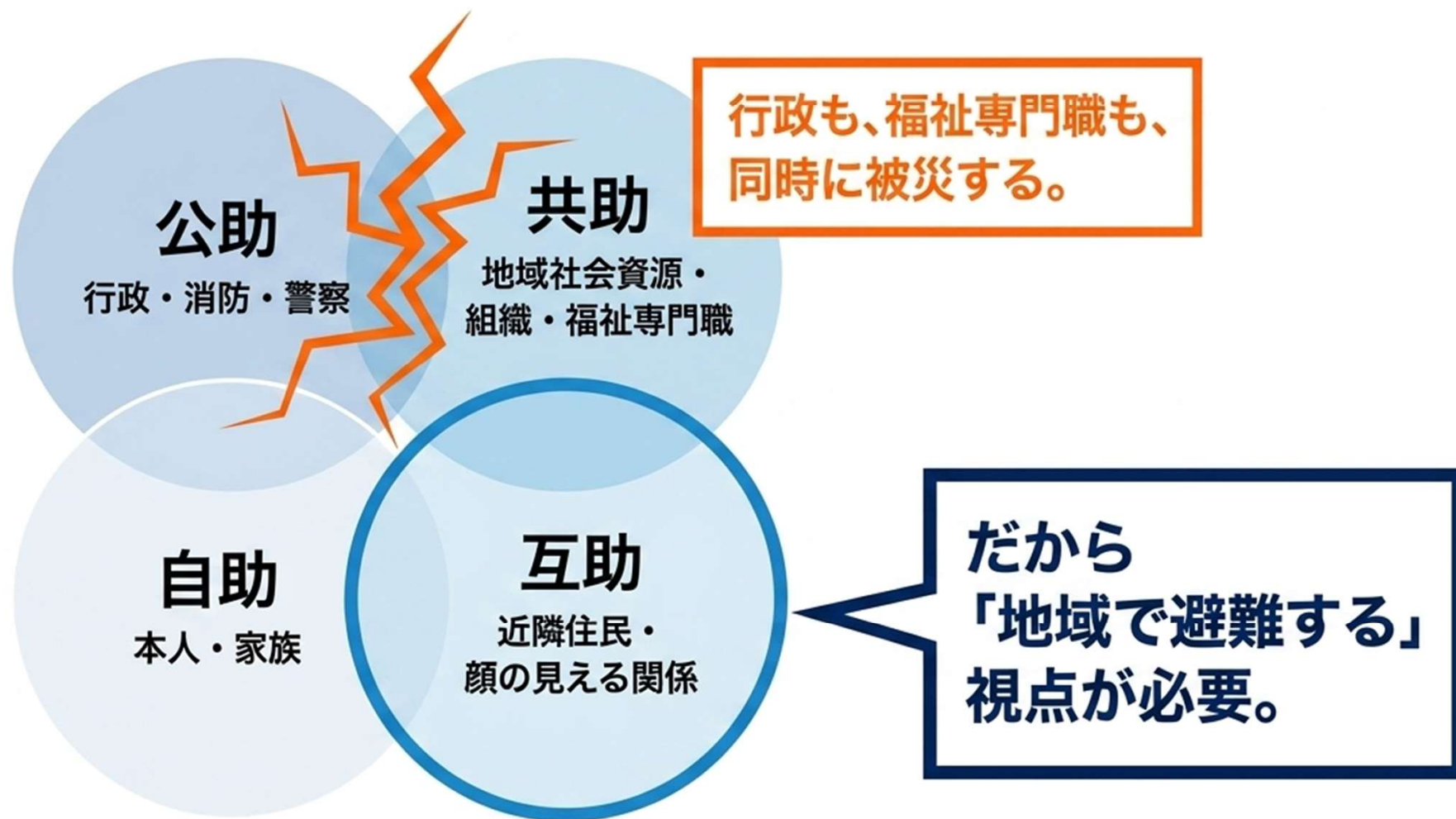
今回の防災ウォークでは「① 移動の困難」にフォーカスします。



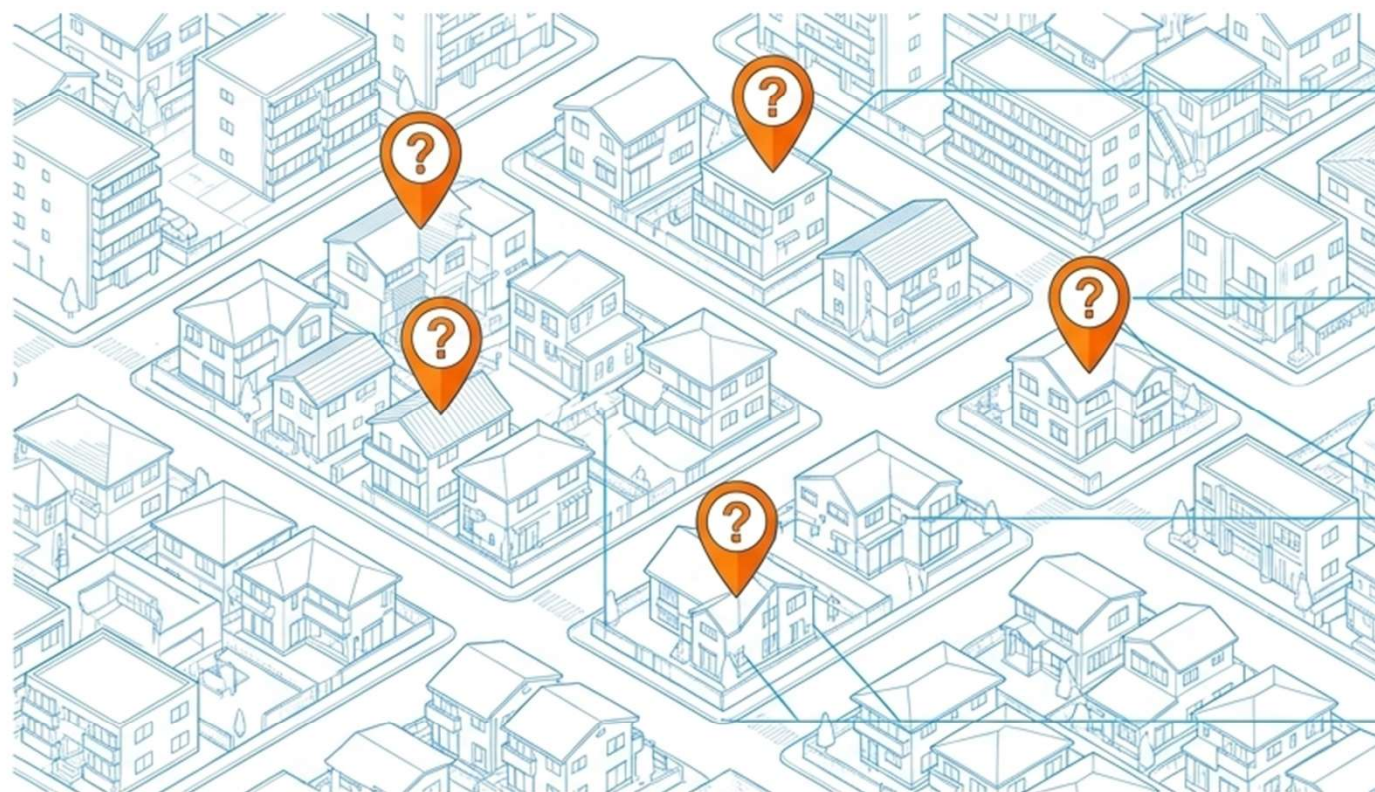
「この人たちは、
災害が起きたとき
ちゃんと避難できる
のだろうか？」

- ・ 福祉用具専門相談員としての原体験
- ・ 車いす、介護ベッド、歩行器…
- ・ 要介護状態の高齢者の生活を支援する
中で直面した「物理的な限界」

災害時、誰が助けるのか？



隣に誰が住んでいるか、知っていますか？



どこに高齢者がいる？

どこに車いす
利用者がいる？

誰が避難支援を
必要としている？

その人を誰が助ける？

「地域で助け合う」ための関係そのものが弱くなっている。

防災訓練を「補完する」新たなアプローチ

	従来の防災訓練	インクルーシブ防災ウォーク
目的	避難所への移動・消火・救命スキル	避難を妨げる「バリア」の発見
視点	健常者を前提とした標準ルート	車いすや介助を必要とする当事者の視点
結果	決められたルールの確認	まちの課題発見と行政への改善提言

防災訓練に足りない視点を補う気づきのきっかけ。

インクルーシブ防災ウォークのミッション：まちの「障害」を発見せよ

☑・段差 / 急な坂 /
狭い歩道

☑・側溝 /
路面の凹凸

☑・放置物 /
車との交錯



「塀や電柱が倒壊したら
このルートは使える？」

「冠水したら
この側溝はどうなる？」

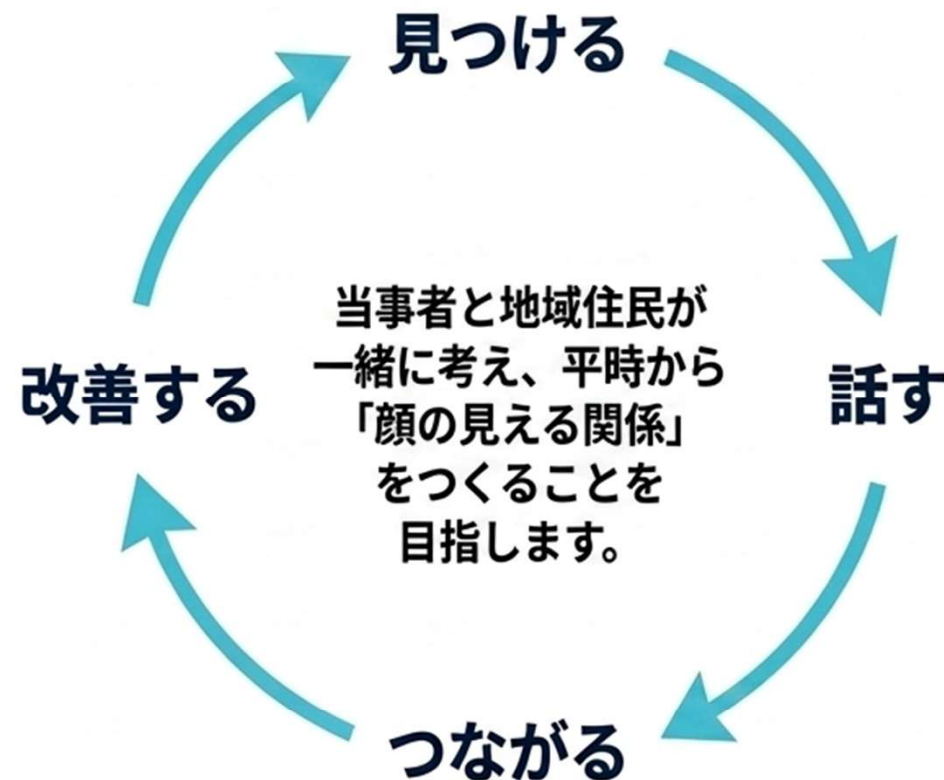
「平常時に通れる」 ≠ 「災害時に避難できる」

アクション・ロードマップ



見つけて終わらない。改善につなげる。

「避難をあきらめない地域」を一緒に作る



誰もが安全に避難できるまちを目指そう！

夏休みラストスパート!
自由研究の駆け込みにも!?

インクルーシブ 防災ウォーク

福祉用具を体験しながら、まちのバリアを見つけよう!

気づきが
未来を守る!

みんなで歩けば、
まちはもっと
やさしくなる!

▼まちを歩いてバリアを見つけよう

▼こんなバリアを一緒にCheck!

インクルーシブ防災ウォークとは?

車いすなどを使用しながら街を歩き、障がい者や高齢者の避難を妨げるバリアを見つけるイベントです。
誰もが避難をあきらめずに済むまちづくりを目指します。

日時
2026年8月23日(日)
10:00~12:30

会場
新丸子こども文化センター~上丸子小学校
※新丸子こども文化センター集合

対象
・小学生とその保護者(親子参加大歓迎!)
・障害者、高齢者の防災、災害時避難に興味・関心がある当事者・一般の方

定員
先着 15名(最少催行5名)

参加費
1人500円
(ボランティア行事用保険料含む)

雨天時
少雨決行・荒天中止
※中止の場合は、当日7:30までに申込者のメールアドレスへご連絡します。

持ち物
スマートフォン、飲み物、帽子、熱中症対策、動きやすい服装

申込QRコード

前回開催レポート

noteでレポート公開中

★ ★ みんなで歩いて、やさしいまちをつくらう! ご参加お待ちしております! ★

主催・お問い合わせ先 中原区ソーシャルデザインセンター 担当:広瀬 hirosetakeshi.kwsk@gmail.com

日時

8月23日(日) 10:00~12:30

場所

新丸子こども文化センター~上丸子小学校

参加費

500円(ボランティア保険代)

持ち物

スマートフォン、飲み物、帽子等熱中症対策
グッズ、動きやすい服装

